



## C B C 取扱説明書

- ☆ 群番号の入れ方 M + 1 + C + 1 2 3 4 5  
 メモリー1に " 1 2 3 4 5 " の群番号を入れました。同様に10個入ります
- ☆ 待ち受けのON、OFFはリセット中 1~9 を押し左下にランプがつけばOK
- ☆ 呼び出しは現表示の群番号
- ☆ モニターをして止まった所で通話OK
- ☆ チャンネル固定 C + 2 3 + MON      23CHに固定  
C + 1 4 4 + MON      144CHに固定
- ☆ HOLD + 2 を押す回数で、モードダウン  
HOLD + 5 を押す回数で、モードアップ
- ☆ HOLD + 8 目覚し時計 終了はマイクのEND
- ☆ リコールはREMOTEボタンを押す
- ☆ 死んだふり (動作しない、暗証番号のみOK)  
HOLD + REMOTE
- ☆ 死んだふりからCBCへ  
C + 5桁の暗証番号 ⇒ C B C 表示

### ◎ ~~CBC~~ 設定

HOLD 10秒以上押し続ける ⇒ U F O 再度で ⇒ C B C

## C B 使用

- ☆ チャンネルセット C + 22 + MON ⇒ 0 22      ロックさせるCHセット
- ☆ CBメモリー HOLD + MON ⇒ -SET-      メモリーセットOK
- ☆ CBロック HOLD + M ⇒ CB-ON       カギマーク点滅
- ☆ CBロック解除 HOLD + M ⇒ CB-OF       カギマーク消える

◆ 目 次 1

スペシャル機能	ページ	番号
HOLDの各機能一覧	(1)	(2)
スペシャルの入り方	(3)	①
ノーマルへのもどし方	(3)	②
特殊群番の設定	(3)	③
CHの入れ方	(3)	④
CHメモリーの仕方	(3)	⑤
待ち受けのセット	(4)	⑧
一分間通話モード	(4)	⑨
HOLDの一般機能	(5)	①
全モード待ち受け/全モードスキャン	(5)	②
モードの切換え	(5)	③
スピードスキャンの切換え	(5)	④
PTTリコール	(5)	⑤
ATIS信号カット	(5)	⑥
群番解読	(6)	⑦
タイマーカット	(6)	⑧
多群番一括リコール	(6)	⑨
空きCHサーチ	(6)	⑩
CHメモリースキャン	(6)	⑪
CB, CHメモリー	(6)	⑫
CBロック	(7)	⑬
群番吸い取り	(7)	⑭
CBC (簡単操作)	(7)	⑮
★ 業務的拡声器	(9)	⑥
切断信号の送出、待ち受け ON/OFF	(10)	⑪
居眠り防止機能	(10)	⑫
UFO/CBCディスプレイ ON/OFF	(10)	⑬
免許番号に関する機能		
免許番号吸い取り	(7)	①
自局の免許番号表示	(7)	②
相手局の免許番号表示	(8)	③
免許番号を自局に戻す	(8)	④
免許番号を作る!	(8)	⑤
免許番号待ち受け	(8)	⑥

# ◆ 目 次 2

ノーマル機能	ページ	番 号
送信出力、受信感度の低下	(9)	①
通話モード切換え	(9)	②
80CH⇔158CH切換え	(9)	③
フィーバーゲーム	(9)	④
PA	(9)	⑤
ストップ ウォッチ	(9)	⑦
目覚ましアラーム	(10)	⑧
動作音の変更 大	(10)	⑨
動作音の変更 小 無	(10)	⑩
<b>HOLDの特典機能</b>		
クロスバンド機能セット ON/OFF	(11)	①
ベル機能セット ON/OFF	(11)	②
UFO (デジタル) 機能セット ON/OFF	(11)	③
スペースシャトル機能セット ON/OFF	(11)	④
ボイジャー機能セット ON/OFF	(11)	⑤
トーン付群番号通信	(12)	⑥
クロスバンド通信	(12)	⑦
トーンスケルチ通信	(12)	⑧
トーンスケルチ通信 クロスバンド	(12)	⑨
UFO (デジタル) 通信 (秘話)	(13)	⑩
UFO通信 複数モード (秘話)	(13)	⑪
<b>HOLDを離れた特典機能</b>		
ポケットベル機能	(13)	⑫
スペース、シャトル (秘話) 通信	(14)	⑬
ボイジャー (秘話) 通信	(14)	⑭
カプセルQSY	(14)	⑮
プライオリティー機能	(15)	⑯
★ PTTON一時PA	(15)	⑰
群番解読一発モニター機能	(15)	⑱
操作ボード使用方法	(16)	
マイクのボタン操作	(16)	
故障と思われる時	(17)	

★ じるしは UFO、VIP 仕様のオプションです

## HOLDの各機能一覧

ページ	操 作	内 容
(5) ②	HOLD + 1	= 全モード待ち受け/全モードスキャン ON/OFF
(5) ③	HOLD + 2	= モード切換え ダウン
(5) ④	HOLD + 3	= スピードスキャン 高速/低速
(5) ⑤	HOLD + 4	= PTTリコール/一分タイマーリコール ON/OFF
(5) ③	HOLD + 5	= モード切換え アップ
(5) ⑥	HOLD + 6	= ATIS信号カット ON/OFF
(6) ⑦	HOLD + 7	= 群番解読 ON/OFF
(6) ⑧	HOLD + 8	= タイマーカット ON/OFF
(6) ⑨	HOLD + 9	= 多群番リコール ON/OFF
(6) ⑩	HOLD + 0	= 空CH サーチ ON/OFF
(6) ⑪	HOLD + C	= メモリースキャン ON/OFF
(6) ⑫	HOLD + MON	= CB, CHメモリー ON
(7) ⑬	HOLD + M	= CBロック ON/OFF
(7) ⑭	HOLD + HOLD + 0~9	= 群番吸取り
(7) ⑮	HOLD を10秒以上押し続ける	= UFO⇔CBC (簡単操作) 切換え
(7) ⑯	HOLD + REMOTE	= 死んだふり機能
(7) ①	HOLD + HOLD + HOLD	= 免許番号吸取り
(7) ②	HOLD + HOLD + MON	= 自局の免許番号表示
(8) ③	HOLD + HOLD + CALL	= 相手の免許番号表示
(8) ④	HOLD + HOLD + C	= 免許番号を自局に戻す
(9) ①	HOLD + CALL + 1	= 0.2W・RXL ⇔ 5W 切換え
(9) ②	HOLD + CALL + 2	= 80CH ⇒ 1MIN ⇒ LOCAL 切換え

ページ	操 作	内 容
(9) ③	HOLD + CALL + 3	= 80CH⇔158CH 切換え
(9) ④	HOLD + CALL + 4	= フィーバーゲーム
(9) ⑤	HOLD + CALL + 5	= PA (拡声器)
(9) ⑥	HOLD + CALL + 6	= 業務的拡声器
(9) ⑦	HOLD + CALL + 7	= ストップウォッチ
(10) ⑧	HOLD + CALL + 8	= 目覚ましアラーム (CBCではHOLD+8)
(10) ⑨	HOLD + CALL + 9	= 動作音 大
(10) ⑩	HOLD + CALL + 0	= 動作音 小 無
(10) ⑪	HOLD + CALL + C	= 切断信号送出・受付 ON/OFF
(10) ⑫	HOLD + CALL + M	= 居眠り防止機能
(10) ⑬	HOLD + CALL + MON	= UFO/CBCディスプレイ ON/OFF
(8) ⑥	HOLD + CALL + HOLD	= 免許番号待ち受け
(11) ①	HOLD + SHIFT + C	= クロスバンド通信 ON/OFF
(11) ②	HOLD + SHIFT + M	= ベル機能 ON/OFF
(11) ③	HOLD + SHIFT + MON	= UFO (デジタル) 通信 ON/OFF
(11) ④	HOLD + SHIFT + HOLD	= スペースシャトル通信 ON/OFF
(11) ⑤	HOLD + SHIFT + CALL	= ボイジャー通信 ON/OFF
(12) ⑥	HOLD + SHIFT + PTT	= トーン付群番号通信
(12) ⑦	HOLD + SHIFT + □ + □ (0 ~ 4)	= クロスバンド通信
(12) ⑧	HOLD + SHIFT + 5	= トーンスケルチ通信
(12) ⑨	HOLD + SHIFT + □ + □ (6 ~ 9)	= トーンスケルチ通信 クロスバンド
(13) ⑩	HOLD + SHIFT + SHIFT	= UFO (デジタル) 通信 単モード
(13) ⑪	HOLD + SHIFT + REMOTE	= UFO (デジタル) 通信 復モード

# パーソナルNEWS 保存版

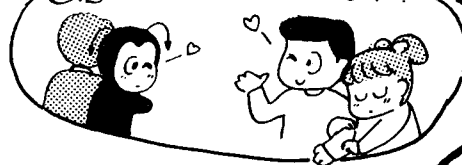
## UFO・VIP

このニュースは国内販売を目的としたものではありません

UFO・VIP... 日本語に訳すと最大編成の未確認飛行物体らしい。その名の通り、パーソナル無線界を恐るべき機能で侵略しようとしているのです。

### ワザバド受信

たとえば、自分が11CHで送信し、相手が5CHで受信OK!!



### スペースシャトル

9個のメモリーしているチャンネルを送信しながら移動します。赤い帯にはほとんど解読されません。



### トーン付受信

じゃま者をカット!! ブレークを受けつけません



### 自動リセットOK!!

リモコンが付いていたとしても便利な機能!! 一瞬のリセットで全員がリセットになるヨ!



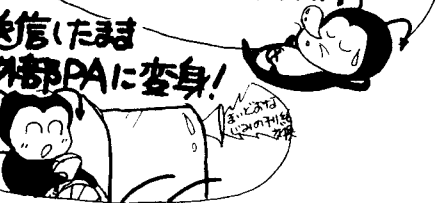
### 完全ロック(CBDロック)

チャンネル・ド群番号をワンタッチでメモリーし、ワンタッチで呼びだしOK!



### ポケットバル機能

特定の人と回線がつながったらつながった事を確認できる機能CATCHと表示します。特定の人とはめまきぬいりはできません。別名デジタルVIP



### 無変調防止回路付

PTTを10分以上握るとアラームがなります。



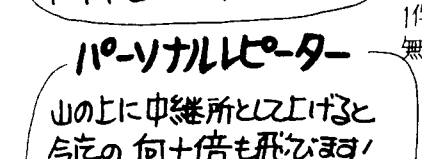
### カナルQSY

今いるチャンネルから仲間全員がワンタッチで別なチャンネルに移動OK!



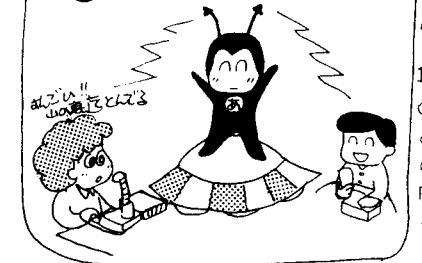
### UFO通信

全局があいているチャンネルにPTTをはなすと移動OK!



### パーソナルピーター

山の上に中継所として上げると今迄の何十倍も飛びます!



ある町に無線機やさんが2件ありました。1件のお店はCBやパーソナル無線をやっている人が来るととってもいやな顔をして、アマチュア無線をやっている人達にはばかり親切にする店がありました。もう1件は無線をやっている人には分けへだてなく親切にしてくる心やさしいお店がありました。ある雪の降夜のこと、意地悪いお店の方へ、みづぼらしい格好の娘さんがやってきて、「わたしのパーソナル無線機が壊れたので直していただけないか?」と頼みました。店の人はいやな顔をしながら「今度かしいから後で来てくれ、とでもパーソナル無線機なんか修理している暇はないよ」と言っ帰りました。しばらくしてもう1件の店へ「さきほどの娘さんがやってきて、同じことを頼みました。すると店の人は「あーいはい、壊れて使えなくなるとさかし大変だったろう」と心よく見てくれました。お店の人はすぐに直してとっても安くしてあげました。◎娘さんはとってもよこんで「何度もおれを言って帰って行きました。お店を閉めて帰ろうかと思っていたところ、テーブルの上に1個の時計が置いてありました。時計の針が12時を回った時ふと無線機をのぞくと、表示が「U・F・O」とつきました。そうです、あの娘さんがUFO・VIPをはこんできてくれたのです。それからというもの、毎日、パーソナルファンの人達が親切な店へやってきて、ますます大繁盛したのです。つづく……

◎最初に

本機にはノーマルモードはありません。ただし、他人に使用されないようにするため、死んだふり機能があります。死んだふり機能の状態では、メモリー操作のキーのみ有効です。安心ロックがかかりますので、暗証番号を忘れないで下さい。

① スペシャルモードの入れ方

MONキーを押して、CHが表示されれば、すでにスペシャル状態になっています。スペシャル状態でない場合は、以下の操作を、行って下さい。

C + 暗証番号 ⇒ U F O 点滅表示します。

② ノーマル (死んだふり) へのもどし方

スペシャル状態を他人に知られたくない場合、下記のとおり操作すると、ノーマルにもどり無線機としての機能が停止します。(暗証番号を忘れると、再度スペシャルにならなくなります。)

HOLD + REMOTE ⇒ 死んだふり

CBロック時は、HOLD+M を押した後行って下さい。

③ 特殊群番号の打ち方

0～9の数字以外の特殊群番号が打てます。“C”に続く次のキーです。

CALL ⇒ A      HOLD ⇒ B      M ⇒ C

マイクEND ⇒ D      SHIFT ⇒ E      REMOTE ⇒ F

④ CHの指定を行います。

例 50CHに指定      C + 5 0 + MON ⇒ 0 50

例 123CHに指定      C + 1 2 3 + MON ⇒ 0 123

⑤ 群番、CH、モードを10個メモリーが出来ます。

例 メモリー-2に11111を入れます。

M + 2 + C + 1 1 1 1 1 ⇒ 2、1 1 1 1 1

ノーマルモードの25CHにセットします。

C + 2 5 + MON ⇒ 0 2 5

25CHにモニター状態になります。その後、CHメモリー-2に、記憶します。

8 + 2 ⇒ S E T \_ 2      または      M + HOLD + 2

⑥ メモリーCHを呼び出します。

前記の、CHメモリー2に入れた、25CHを呼び出します。

$\boxed{C} + \boxed{2} + \boxed{MON} \Rightarrow \boxed{JP \_ \_ 2} \Rightarrow \boxed{0 \ 2 \ 5}$

25CHにモニター状態になります。また、

$\boxed{M} + \boxed{MON} + \boxed{2}$  と押しても同様です。

通話中、送信中のCHメモリー呼び出しは、

$\boxed{MON} + \boxed{2} \Rightarrow \boxed{JP \_ \_ 2} \Rightarrow \boxed{0 \ 2 \ 5}$  と押して下さい。

⑦ CHメモリーを発呼出来ます。

リセット中、前記で入れたCHメモリー2の11111を25CHで発呼します。

$\boxed{CALL} + \boxed{2} \Rightarrow \boxed{0 \ 2 \ 5}$  25CHでモニター状態になります。

同様にCALL+0~9にて、10個のCHメモリー発呼が可能です。

⑧ 待ち受けのセットの仕方。

リセット中に行ってください。

1~9のボタンを押すと、画面左下に、1~Eのランプが点灯します。

1~3 ランプ点灯は、メモリー1~3の待ち受け

A は、4とA-COd 待ち受け

B は、5とB-COd 待ち受け

L は、6とL-COd 待ち受け

H は、7とH-COd 待ち受け

P は、8とP-COd 待ち受け

E は、全群番号 待ち受け

0 は、待ち受け表示は、ありません。

ランプ消燈時は、待ち受けしていません。

また、自分で最後に表示した群番号は、上記に関係なく、常に待ち受け状態となります。

⑨ 一分間通話モード

送る側も受ける側も一分間しか通話出来ません。一分後、自動的にリセットします。

業務用としても、幅広く使用できますので大変便利です。

メモリー0の群番号を同じにします。

M + 0 にての、発呼（マイクをにぎる）は、自動的に一分間通話モードです。

$\Rightarrow \boxed{\_ \_ \_ 4 \ 5}$  残り時間、45秒を表示しています。

※ CHについて

キー操作によるCH設定の場合は、01CH~158CHまで可能です。

(モニタースキャン時は、02CH~158CHまでです。)

ただし、制御CH(01CH)の送信は出来ません。また、モード3、4、5、6、7、8、9

は、極度に周波数が離れているため、無線機本体の性能により、送信出来ない場合があります。

また、送信していても安定した電波であるかは不明です。このため、この周波数帯での送信は、

極力行わないで下さい。パワーモジュールの故障の原因ともなります。

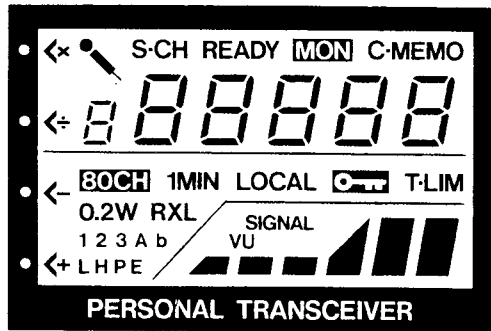
01CHでの送信  $\Rightarrow \boxed{P \ - \ O \ F \ F}$  送信不可能です。

5、6、7、8、9モードも同様です。



## HOLDの一般機能

- ① **HOLD** を押すと、



のセット、解除の  
確認が出来ます。

- ② 全モード待ち受け 全モードスキャン

**HOLD** + **1** ⇒ **C-MEMO** 点滅

リセット中、全モードにおいて待ち受けします。相手側は連続リコールが必要です。  
モニター中、全モードにおいてスキャンします。

- ③ モードの切換え

**HOLD** + **2** ⇒ 0~9 \_ \_ \_ \_

モードを地下バンド方向へ切換えられます。

**HOLD** + **5** ⇒ 0~9 \_ \_ \_ \_

2, と同様ですが、逆方向です。

- ④ スキャンスピードの切換え

**HOLD** + **3** ⇒ 3 \_ \_ \_ \_

モニタースキャンのスピードを変えます。

- ⑤ PTTリコール 一分タイマーリコール

**HOLD** + **4** ⇒ \_ 4 \_ \_ \_

PTTを離れた時に、リコールをたきます。受信時、一分おきにリコールをたきます。

- ⑥ ATIS信号カット

**HOLD** + **6** ⇒ \_ \_ 6 \_ \_

PTTを握った時、離れた時のATIS信号を止めてしまいます。ただし、リコールはできます。

⑦ 群番解読

**HOLD** + **7** ⇒  **\_ \_ \_ 7 \_**

受信時、ATIS信号を受けた時群番表示させます。

⑧ タイマーカット

**HOLD** + **8** ⇒  **T \_ C U T**  タイマーカットON

⇒  **T \_ U S E**  再度でOFF

T・LIM

この機能は、単にタイマーを止めるだけではなく、使用状況に応じて、機能がさまざまに変化します。

⑨ 多群番一括リコール

**HOLD** + **9** ⇒  **\_ \_ \_ \_ 9**

待ち受け指定をしている群番号を、すべてリコールする機能です。

⑩ 空きCHサーチ

**HOLD** + **0** ⇒  **O P - C H**  空きCHサーチON

⇒  **U S - C H**  再度でOFF

スキャンを空いているCHで止めるようにします。  
あくまで、機械の空きCHレベルにより判断しますので、遠くで使用している場合、また、ブレイクタイムの時などで、使用中のCHで止まることもあります。

⑪ CHメモリースキャン

**HOLD** + **C** ⇒  **C \_ S C N**  スキャンON

**HOLD** + **C** ⇒  **\_ \_ \_ C H**  CHメモリーがセットされていない時表示

CHの順番のスキャンではなく、CHメモリーのスキャンを行います。  
GVUFOには10個のCHメモリーがありますが、CHメモリーについては、3ページの⑤項を参照して下さい。

スキャン中、モニターキーを押すとスキャンが止まり、マイクのSHIFTとREMOTEにて順番に送れます。PTT ON又は、ENDで、CHのメモリースキャンがOFFになります。

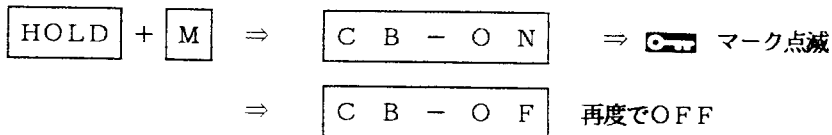
⑫ CB、CHメモリー

**C** + **2 3** + **MON** 23CHをセットしてから、

**HOLD** + **MON** ⇒  **- S E T -**

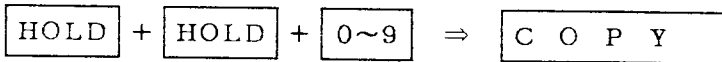
CBロックさせる為のセットですので、あらかじめモード、CH、群番号(メモリー-1)をセットして下さい。群番号は(メモリー-1)がセットされます。

⑬ CBロック



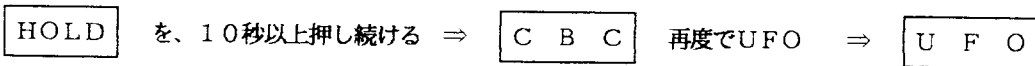
CBロックを掛ければ、リコール・PTT・PTTPA、そして解除のHOLD+M以外の全ての操作を不可能にして簡単に使用していただく機能です。群番号は、メモリー1の番号で送信します。このとき、待ち受けの表示ランプ2～Eは、消灯します。ロックOFF時にPTTリコール (H+4) ATISカット (H+6) をセットしておけば、CBロック時、自動的にセットされています。

⑭ 群番号吸い取り



群番号解読の時、表示された群番号を、自分のメモリーにコピーすることができます。コピーしたい群番号が表示されたら、上記の操作を行います。但し、以前に記憶されていたメモリーは、消されます。

⑮ CBC (簡単操作)

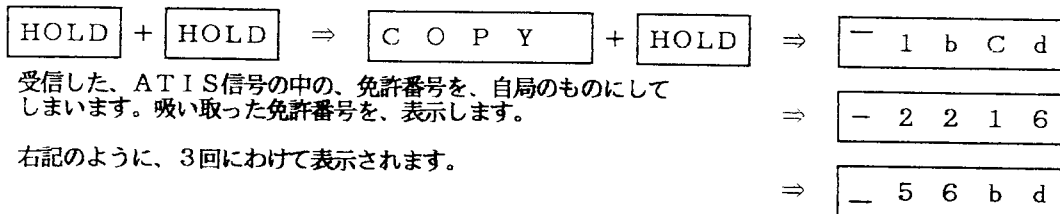


Sメーターの上に、SIGNAL表示時はCBCです。CBC時、群番号解読、CH固定、モニター割り込み、モード切り換え、M+Oでの一分間通話、HOLD+8が目覚ましに変わり、PTTON PAのみで余分な操作は出来なく簡単に使えます。CBロック機能付きです。別紙を参照下さい。(もちろん、リコール等は使用可能) また、UFO時の機能のうち、全モード待ち/スキャン (H+1)、PTTリコール (H+4)、ATISカット (H+6)、多群番リコール (H+9)、特殊機能はUFO時にOFFしておく、CBC時に使用出来ます。別紙取説もあります。CBC時に、死んだふり機能に入れて再度スペシャルON時はCBCに戻ります。UFOも同様です。

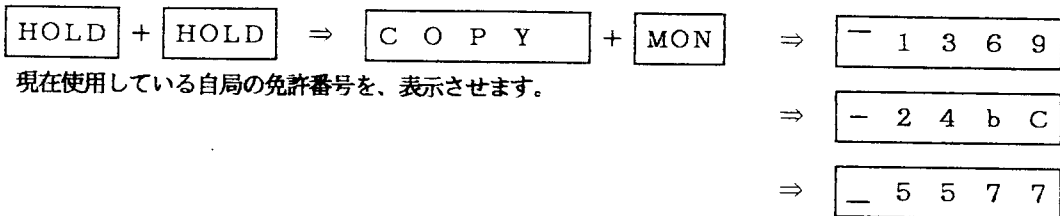
⑯ 完全ノーマル (死んだふり機能) にします。  
3ページ②を参照下さい。

### 免許番号に関する機能

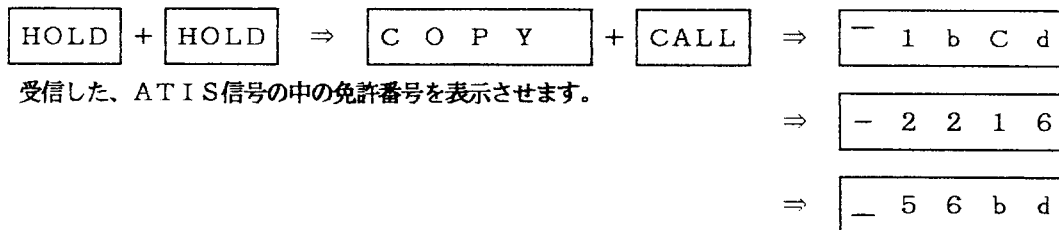
① 免許番号吸い取り



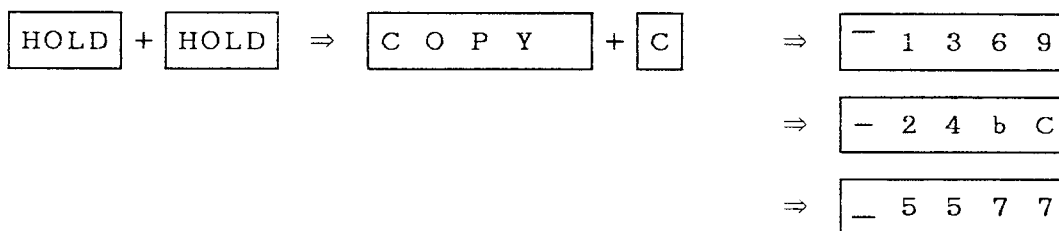
② 自局の免許番号の表示



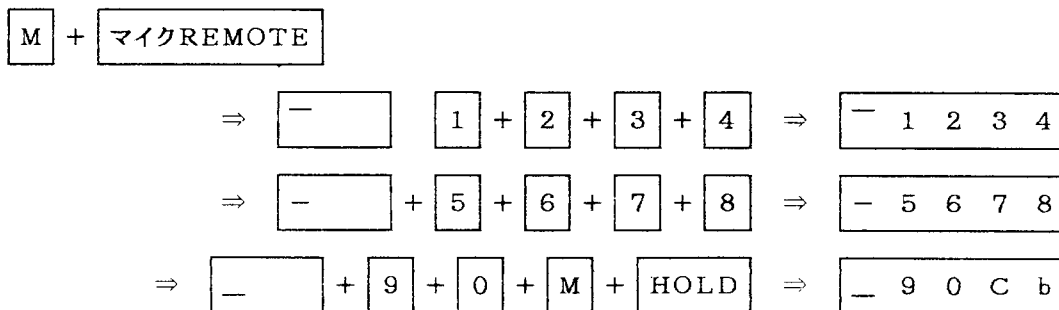
③ 相手局の免許番号の表示



④ 免許番号を自局に戻す



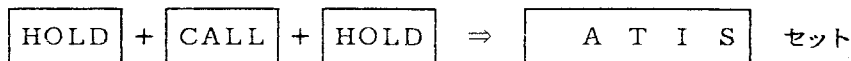
⑤ 免許番号を作る！！



これで、免許番号は、1234567890CB となりました。キー入力の際のアルファベット入力は、群番号の場合と同じです。

⑥ 免許番号待ち受け

リセット中、自局の免許番号と同じ局にだけ、呼び出しを受け付けます。



(再度の操作で、ノーマル) ⇒ 群 番 号 表 示

群番号には関係なく、ATISの中の、免許番号だけに答えます。  
 あらかじめ、相手の免許番号を吸い取っておくか、記録しておいて免許番号を打ち込んでから使用して下さい。なお、免許番号で待ち受けしている時は、他の待ち受けは無効となります。  
 この表示は、モニターやレディ状態から、リセット状態になった時に表示されます。  
 また、モニター中や通話中にリセットすれば、解除になります。  
 リセット中は、再度の操作 (HOLD + CALL + HOLD) か、MON+ENDでも解除になります。

【ここからは、ノーマル機能です。】

フロントパネルの灰色どおりに、使用できます。

① 送信出力、受信の低下

**HOLD** + **CALL** + **1** ⇒ 0.2W RXL 赤色表示します。

再度、HOLD+CALL+1 ⇒ 送信出力を0.2W、受信感度を14dB 低減にします。  
 ⇒ 0.2W 表示  
 再度、HOLD+CALL+1 ⇒ 送信出力は0.2Wのまま、受信感度を元に戻します。  
 ⇒ 表示なし  
 ⇒ 送信出力と受信感度を元に戻します。

② 通話モード切換え

**HOLD** + **CALL** + **2** ⇒ **80CH** 表示 80CHモードに設定  
 再度、HOLD+CALL+2 ⇒ 1MIN 表示 一分通話モードに設定  
 再度、HOLD+CALL+2 ⇒ LOCAL表示 ローカルモードに設定  
 再度、HOLD+CALL+2 ⇒ 1MIN、LOCAL表示 一分通話のローカルモード  
 再度、HOLD+CALL+2 ⇒ 表示なし 158chに設定

③ 80CH、158CH切換え

**HOLD** + **CALL** + **3** ⇒ **80CH** 表示し、80CHに設定  
 再度、HOLD+CALL+3 ⇒ 表示なし 158CHに設定

④ フィーバーゲーム

**HOLD** + **CALL** + **4** ⇒ **- 9 9 9 -** 表示  
 PTTを押すごとにスタート、ストップします。終了はENDキーを押してください。

⑤ PA

**HOLD** + **CALL** + **5** ⇒ **P A \_** 表示  
 外部スピーカーをつながないと音が出ません。終了はENDキーを押して下さい。

☆⑥ 業務的拡声器

**HOLD** + **CALL** + **6** ⇒ **VU** 点滅表示  
 リセット中、上記の操作をしておく、着信時、通話受信中外部スピーカーから、音が出ます。  
 PTTを握ると、内部スピーカーに、切り換わります。工事現場等での使用に便利です。  
 PTT ONにて機能終了ですので、再度使用時はもう一度セットして下さい。  
 受信中に上記の操作をすると内部スピーカーが外部に変わり受信音を外部でキャッチ出来ます。

⑦ ストップ ウォッチ

**HOLD** + **CALL** + **7** ⇒ **o o o o o**  
 PTTは、スタート、ストップの操作です。REMOTEは、ラップタイム、クリアー操作です。  
 終了は、ENDキーを押して下さい。

⑧ 目覚ましアラーム

**HOLD** + **CALL** + **8** ⇒ **—** と、表示します。

設定時間よりカウントダウンし、時間になると音で知らせます。

例) 1時間30分後に設定し鳴らすには、

**C** + **0** + **1** + **3** + **0** ⇒ **1 - 3 0**

一分ずつカウントダウンし、タイムアップすると、アラームが15秒間ずつ高音と中音の交互に音を変化させていきます。マイクのENDキー以外のキーを押すと、アラームが一時止まり、また5分後に鳴り始めます。終了は、マイクのENDキーを押して下さい。

⑨ 動作音の変更 大

**HOLD** + **CALL** + **9** ⇒ **H**

動作音を大きくします。

⑩ 動作音の変更 小 無

(動作音 小)

(動作音 無)

**HOLD** + **CALL** + **0** ⇒ **L** + **0** ⇒ **0**

HOLD+CALLに続いて、0のキーを押すことにより、小・無の状態が交互に現れます。

⑪ 切断信号の送出、受付

**HOLD** + **CALL** + **C** ⇒ **CT - ON** 再度でOFF

従来の切断信号を送出し、待ち受け状態にします。電源を切ると自動でOFFになります。この機能は、強制リセットではありません。ただし、ノーマルバンドでしか使用出来ません。

⑫ 居眠り防止機能

**HOLD** + **CALL** + **M** ⇒ **ON - 1 0** 再度でOFF

無変調のまま眠った時にアラームで、起こしてくれる機能です。  
PTT ON時に操作して下さい。PTT ON状態が10分間続くとアラームが鳴ります。  
PTT OFFで解除出来ますが、再びPTT ONが10分以上続くとアラームがなります。  
リセット又は電源OFFで、完全解除できます。

⑬ UFO/CBC ディスプレー ON/OFF

**HOLD** + **CALL** + **MON** ⇒ **UC - ON** ディスプレーON

⇒ **UC - OF** 再度でOFF

UFO及びCBCを入れた時は常に、ディスプレイを表示します。  
30秒以内に、電源OFF/ONした時に、ディスプレイが流れなくなる機能です。

## HOLDの特殊機能

以下のHOLDの特殊機能は、メモリー0の状態では使用出来ません。メモリー1～9で使用して下さい。待ち受けのランプが点灯してる所は着呼可能です。

**HOLD** + **SHIFT** ⇒ **B C U S J**      機能確認表示

B：ベル機能、C：クロスバンド機能、U：UFO機能、S：スペースシャトル機能、J：ボイジャー機能のセット及び解除を確認出来ます。HOLD+SHIFTを押した時、B、C、U、S、J、いずれも表示している時に使用可能です。

※ トーン、自動クロスバンド、UFO（デジタル）、スペースシャトル、ボイジャー通信では、立ち上がったモードにリコールできます。例えば、ノーマルモードから立ち上がったなら、地下2Fにいてもノーマルモードに、リコールします。  
またトーン、自動クロス、クロストーンSQ、UFOでは、CHメモリー呼び出して移動出来ます。ノーマルモードで開局すれば、地下3Fでリセットしてもノーマルモードに戻っています。

※ BEL、トーン、自動クロス、UFO、ボイジャー通信では、81CH～158CHを使用します。CHの混雑から、避ける為です。

① クロスバンド通信機能セット・待ち受け ON/OFF

**HOLD** + **SHIFT** + **C** ⇒ **\_ C \_ \_ \_**      再度でOFF

② ベル機能セット・待ち受け ON/OFF

**HOLD** + **SHIFT** + **M** ⇒ **b \_ \_ \_ \_**      再度でOFF

③ UFO（デジタル）通信機能セット・待ち受け ON/OFF

**HOLD** + **SHIFT** + **MON** ⇒ **\_ \_ U \_ \_**      再度でOFF

④ スペースシャトル通信機能セット・待ち受け ON/OFF

**HOLD** + **SHIFT** + **HOLD** ⇒ **\_ \_ \_ S \_**      再度でOFF

⑤ ボイジャー通信機能セット・待ち受け ON/OFF

**HOLD** + **SHIFT** + **CALL** ⇒ **\_ \_ \_ \_ J**      再度でOFF

## 特殊機能での使用方法

### ⑥ トーン付群番号発呼

**HOLD** + **SHIFT** + **PTT**

トーン付群番号で発呼した時、同一群番号であっても窓口が開きません。群番とトーン両方とも一致した時、初めて開局します。ダブル群番号と考えて頂けましたら分かり易いでしょう。同じクラブ内の特定の人と交信したい時便利です。ノーマルモードにいても、**HOLD+SHIFT+2+2**と押せば、地下2Fで自動発呼します。立ち上がったモードにリコール可能で、リセットすればノーマルモードに戻ります。途中で群番、CH、モードが変更可能です。

### ⑦ クロスバンド通信 (リセット中のみ)

**HOLD** + **SHIFT** + **2** + **3** ⇒ **C R - 2 3**

同一CHの交信だが、送信と受信がおたがいに違うバンドで通話する機能です。他人にモニターされても片方の声しか受信されません。**HOLD+SHIFT**に続く第一数字は送信のバンドで、第二数字は受信バンドとなります。相手側は、自動でセットされますのでリセットしておいて下さい。上記の操作は、送信が地下2F、受信が地下3Fで相手側はその逆となります。CHは自動でセットされます。この時リコールは、たちあがったモードにリコールをたきます。もちろんトーン付群番ですので特定の局しか開きません。途中で、群番、CH、が変更可能です。

### ⑧ トーンスケルチ通信 (リコール可能)

**HOLD** + **SHIFT** + **5** ⇒ **T S - \_ 5**

トーンスケルチとは、群番とトーンが一致しなければ、Sメーターが振れていても相手の音声は聞こえない機能です。特定の人しか聞こえてこないのが、業務用としても大変便利です。モニター中、通話中に設定できます。設定直後は普通の受信、PTT ON、又はトーンSQ信号受信でSQが動作します。トーンスケルチ中モニターキーを押すと、普通の受信(SQ解除)となり、さらにモニターキーを押すと、またトーンスケルチが動作します。最終にセットした群番が有効で、お互いがCHと群番を入れ替える事もできます。

### ⑨ トーンスケルチ通信 クロスバンド (リコール可能)

**HOLD** + **SHIFT** + **6** + **9** ⇒ **T S - 6 9**

あらかじめお互いのCHメモリーを同一にしておきます。(ここでは、M6と9のCHメモリーです)**HOLD+SHIFT**に続く第一数字は、送信のCH、第二数字は受信のCHを表します。相手側は、リコールされればその反対がセットされます。メモリーCHは、6~9の間で選んで下さい。途中で、群番の変更が可能です。この機能は、自動的にトーンスケルチが働きます。

## ※ ワンポイント

トーンスケルチON時 ⇒ **T \_ \_ \_ \_** メモリー窓口に、tが表示します。

トーン発呼、クロス、トーンスケルチ、UFO時にモード及びCHの変更をする時、**C+?+MON**とCHメモリー呼び出しで変更して下さい。ただし、クロス時はモード指定ですのでCHの変更だけです。



⑩ UFO (デジタル) 通信 (秘話通信)

CHがランダム(無作為)に、全局が移動する機能です。リセット中に操作して下さい。

**HOLD** + **SHIFT** + **SHIFT** ⇒ **U F O - S**

UFO通信では、相手のATIS信号を受信後、2度目のPTT OFF時に全局がランダムにCH移動します。ATIS信号を受けない時は4度目のPTT OFF時に移動します。電波が弱い時や障害があった時CHが移動しない時があります。電波が弱い時はPTTを一回づつローテーションすればCHは移動しません。移動にはぐれた時はリセットし、リコールを持って下さい。

この機能中、同一機種でも群番号解読はされないし、トーン付リコールですので、よけいな局をリコールしませんので妨害されるのも最小限ですみます。途中で群番号、CH、モードを変更出来ます。

※濁ったATIS信号を受けた時PTTがON出来ない時があります。MONキーを押して解除して下さい。また、全モード待ち受け(HOLD+1)は、入れないで下さい。

⑪ UFO通信 複数モード (秘話通信)

**HOLD** + **SHIFT** + **REMOTE** ⇒ **U F O - D**

⑩、と同様に使用して下さい。上記は同一モードでの移動でしたが、この操作は、地下1Fと2Fを移動します。どのモードでリセットしても、一回のリコールで開局します。

**HOLD**を離れた特殊機能

⑫ ポケットベル機能

普通の交信と違いATIS信号のやりとりと考えて下さい。群番(BEL)は、1~9の種類で、3種類のアラーム音が受け付け側に鳴ります。信号を受けたら、BEL\_? (メモリーナンバー)を表示し、20秒間アラームが鳴り、その後タイマーがスタートし、最大99分59秒まで表示します。  
注意) 群番号をメモリーする時に、同じ群番号にセットして下さい。また、1MIN及びLOCAL時は動作しません。

例) お互いにメモリー6を、12345にします。

※ 送信側

**M** + **C** + **6** ⇒ **B E L \_ 6** 自動発呼します。

相手が受け付けなければ、7秒おきに10分間自動リコールします。それでもダメな時、リセットします。

相手が受け付けたら ⇒ **C A T C H** を表示し、STOPします。リセットして下さい。

※ 受信側

呼ばれたら ⇒ **3 B E L \_ 6** メモリーCH1, 4, 7は、アラーム1の音  
メモリーCH2, 5, 8は、アラーム2の音  
メモリーCH3, 6, 9は、アラーム3の音

上記表示の左端の3は、アラーム3の音を表示し、どのメモリーCHかは、右端に表示される。ここでは6で、それぞれ違った3種のアラーム音となり、20秒後タイマーがスタートする。

タイマーがスタートするとメモリー6が左端にくる。 ⇒ **6 2 1 2 3 0**

↓ ↓ ↓ ↓  
メモリー6で、着信後 21分 23秒 経過と表示

⑬ スペース、シャトル (秘話) 通信 (リコール可能)

9個のCHメモリーを全局が同時に、メモリー1 ~ メモリー9と各2秒間スキャンしながら交信する機能です。リセット中より、この機能が設定できる仲間全員が参加できます。

SHIFT + CALL ⇒ OK (表示は A \_ \_ \_ \_ → S-P-S となる)

(送信側) SHIFT + CALL を押しPTTを握りリコールをして下さい。

(受信側) リセット状態にしておいて下さい。

SPS通信では、相手局のATIS信号を受信して、メモリースキャンが始まり今どこのモード、CHを使用しているか、確認しながら交信出来ます。2秒間スキャンで群番号も解読されませんので他局に通話内容を確認される心配は少ないと思います。

あらかじめお互いがモード、CHを同じ順番にCHメモリーしておきます。

⑭ ボイジャー (秘話) 通信 (リコール可能) (40CH/200CH)

スペースシャトルと同様の内容ですが、あらかじめCHはメモリーされていますので、メモリー1の群番号をそろえておくだけです。(スペースシャトルのチャンネルセット版!)

SHIFT + MON ⇒ OK (表示は A \_ \_ \_ \_ → B-Y-J となる)

(送信側) SHIFT+MONを押し通話して下さい。自動リコールします。

(受信側) リセット状態にしておいて下さい。

途中で、リコール出来ます。もちろん、トーン付リコールで群番号も解読されません。

⑮ カプセルQSY

現在使用CHより、QSY機能が設定出来る仲間全局を、信号を送る側のメモリーCHへ移動させる機能です。

☆ QSYを受信側 7キーを押す。 ⇒ Q - S - Y 再度でOFF

☆ QSYを送信側 9キーを押す。 ⇒ Y 1 \_ \_ 4 5 (全CH使用中で12345)

現在のCHメモリー使用状況を調べます。上記ではCHメモリー1、4、5は使用中を表示しています。CHメモリー2、3は空いていますので、2キーを押すとCHメモリー2でモニター状態となります。真に空きCHかを確認したら、PTT ON中 (送信中) リコールをして下さい。仲間全局がCHメモリー2のCHに一齐に移動してきます。二回目からはマイクのSHIFTキーを押せば上記の表示になります。

☆ QSY終了後、もう一度QSYをするには、上記の方法で再セットして下さい。中止する時は、受手は7キー、送り手は9キーを押せばOFF出来ます。モニター、CHセットからブレイクインして来ても参加出来ます。信号を送る側と受ける側は、入れ替わってもOKです。

※ ワンポイント QSYで移動した後のリコールは、送り手は移動前のCHに、受手は立ち上がったモードの制御CHをリコールします。

⑩ プライオリティー機能

CHメモリー0～9を10個を現在使用中か空きCHかを監視する機能です。  
リセット中、通話中に操作して下さい。なお、メモリー0については1秒間受信します。

リセット中、通話中にマイクのSHIFTキーを押す ⇒ 

A	_	2	3	_	5
---	---	---	---	---	---

再度押すと ⇒ 

B	_	_	_	9	_
---	---	---	---	---	---

現在、CHメモリー2、3、5、9が使用中、1、4、6、7、8、0が空きCHであることが分かります。

☆ プライオリティー、フライト

SHIFTを押した後、例えば2を押すとCHメモリー2でモニター状態になります。

☆⑪ PTT中一時PA

送信中にマイクのSHIFTを押すと拡声器となり、PTTを放すと通常の通話状態に戻ります。

⇒ 

P	T	T	P	A
---	---	---	---	---

外部スピーカーを接続していない時は、使用出来ません。

⑫ 解読群番一発モニター機能

CALL
------

 + 

CALL
------

リセット中に解読群番号のCHに、即モニター出来る機能です。目的の群番が出たらすばやく押して下さい。なお、信号がにごった(弱い)時は、2回目のCALLが受け付けません。

▶ ベル、QSY、トーン、トーンスケルチ、UFO、  
クロスバンド、SPS、ボイジャー時は、必ず  
**群番号** を、そろえてください。

☆ 操作ボード

① 1～9, リセット中、待ち受けの ON/OFF (ノーマルと同じ)

② モニター・通話中

1CH ダウン 1	バンド ダウン 2	1CH アップ 3
ハーフ ダウン 4	バンド アップ 5	ハーフ アップ 6
カプセル Q S Y 7	メモリーCHセット 8	カプセルパイロット 9
群番・CH表示 切換 O	C	M

☆ マイクのボタン操作

リセット 中	⇒ R ⇒	メモリー群番切換
モニター 中	⇒ E ⇒	1CH アップ
通話 中	⇒ M ⇒	リコール
送信 中	⇒ O ⇒	リコール
HOLD 中	⇒ T ⇒	完全 ノーマル
HOLD+SHIFT中	⇒ E ⇒	デジタル通信復元 ON

リセット 中	⇒ E ⇒	メモリー群番切換
モニター 中	⇒ N ⇒	リセット
通話 中	⇒ D ⇒	リセット

リセット 中	⇒ S ⇒	プライオリティ ON
モニター 中	⇒ H ⇒	1CH ダウン
通話 中	⇒ I ⇒	プライオリティ ON
送信 中	⇒ F ⇒	PTTPA (拡声器)
HOLD 中	⇒ T ⇒	SHIFT 各機能
HOLD SHIFT中	⇒	デジタル通信単 ON

## 故障と思われるとき

故障と思われるときでもつぎの点を確認してください。  
それでも直らないときはお買いあげの販売店にご相談ください。

症状	チェック項目	原因または処置方法
・電源が入らない	1. ヒューズが切れていないか 2. 接続コードは確実に配線されているか 3. (車または基地電源)のメインスイッチがOFFになっていないか	・原因を取り除いてからヒューズ(5A)に交換 ・無線機の接続点検、バッテリー端子の接続点検 ・車または基地電源のメインスイッチを入れる
・送信しない	1. 電圧がドロップまたはハムがでていないか 2. 電波が混雑していないか 3. アンテナは正しく着いているか 4. ノーマルに戻っていないか	・バッテリー電圧を確認してみる ・しばらく待ってからプレストークする ・アンテナコネクタがはずれている。または、はずれかかっている。アンテナ側は1cm以上出す ・C+暗証番号にてスペシャルにする
・通話中急に通話ができなくなった	1. 通話中、間違ってENDキーを押さなかったか	・元のチャンネルに戻る (C+??+MON)
・あまりとばない	1. 0.2Wになっていないか	・HOLD+CALL+1にて解除する
・交信開始のとき頭が切れる	1. 空きチャンネルを探している	・最初プレストークを押した時、S-CH READYになったら通話する (約2秒かかる)
・CQ呼び出しされた時、20秒で聞こえなくなる	1. タイマーカットが入っているか	・HOLD+8にてタイマーカットをONにする
・受信の始めと終わりにピー音はいる		・相手がマイクのプレストークを押したときに、ATIS信号がでる
・受信できない	1. RXLもしくはLOCALモードになっていないか 2. 音が小さくないか 3. 待受群番号がセットしてあるか	・HOLD+CALL+1 HOLD+CALL+2 で解除 ・ポリウムが左いっぱいになっていたら右へ回す ・待受群番号を10キーでセットする
・受信できるエリアが小さくなった	1. アンテナケーブルは、確実に接続されているか 2. 小ゾーンモードになっていないか	・アンテナコネクタのゆるみ、ケーブルのつぶれがないか ・小ゾーンモード解除する
・S-CH READYになっても通話できない	1. スケルチを右へ回しノイズを出してみる	・ノイズが出ない時他局がいたずらして送信している ・弱電界の場合、スケルチが右へ回っていると音声は聞こえなくても、ATIS信号は制御される。 ・スケルチを左へ回して通話する
・スケルチの調整ができない	1. READYになっていないか	・プレストークまたはMONを押しMON, S-CHにして、スケルチの調整をする
・通話内容がとぎれる	1. スケルチの調整が適当か	・移動用の場合は、障害物の影響でとぎれます、スケルチの調整をする
・Enn点滅ピリピリ音なる。	1. プレストークボタンがプレス状態のままになっていないか	・プレスを解除する
・1~0, C, Mキーしか押せない	1. ノーマルにもっていないか	・C+暗証番号にてスペシャルにする
・操作出来ない	1. CBロックがセットされていないか	・HOLD+Mにて解除